

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 国際社会	現代国際事情	土谷 岳史	1 年次	秋

授業のキーワード	アメリカ、資本主義、グローバリゼーション
授業の概要	本講義ではドキュメンタリー映画などを使いながら現代世界についての知識を深めていく。前半は現代世界を考えるうえでどうしても避けて通れないアメリカを考える。後半はグローバル化した世界について考えていく。
期待される学習成果（目標）	1. アメリカについての知識を得ることができる。 2. グローバル化する世界についての知識を得ることができる。 3. 映像を視る際のリテラシーを獲得できる。 4. 現実の世界情勢などについて能動的に考え、見解をまとめることができる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	本講義の目的、内容、課題について理解する。	第 9 講	アメリカの資本主義とグローバル資本主義②	市場原理と規制の関係についてグローバリゼーションの観点から考える。
第 2 講	アメリカの原理主義①	原理主義とは何か？基本的な知識を獲得する。	第 10 講	グローバル金融危機とアメリカ的経済学①	グローバル金融危機についての基本的な知識と背景となる知の枠組みを理解する。
第 3 講	アメリカの原理主義②	アメリカの原理主義がどのような政治的権力を持っているのかについて考察する。	第 11 講	グローバル金融危機とアメリカ的経済学②	グローバルな金融危機への取り組みと課題を考える。
第 4 講	アメリカの道徳と抵抗①	多数者の専制と表現という政治について理解する。	第 12 講	グローバル資本主義とベーシック・ヒューマン・ニーズ①	南北問題と経済的グローバリゼーションについて理解する。
第 5 講	アメリカの道徳と抵抗②	音楽、スタイル、表現の政治を考える。	第 13 講	グローバル資本主義とベーシック・ヒューマン・ニーズ②	ローカルな生活世界と商品化という暴力について考える。
第 6 講	アメリカという格差社会①	アメリカの建国の精神と新自由主義改革について理解する。	第 14 講	グローバリゼーションの下での文化の政治	文化のグローバリゼーションとローカル化について考える。
第 7 講	アメリカという格差社会②	福祉国家の理念とアメリカという例外について考える。	第 15 講	全体のまとめ	これまでの講義を振り返り、まとめる。
第 8 講	アメリカの資本主義とグローバル資本主義①	資本主義の多様性とアメリカの資本主義の特徴について理解する。	定期試験		レポートを課す。学生自身が現代世界の課題について考え、問いを設定し、調べ、レポートにまとめる。
	評価方法	レポート 60%、小テスト等 40%			
	使用する教科書（必ず購入してください）	参 考 文 献			